

地域の資源を活かし、育み、「水」「土」「里」の未来を拓く

秋田の山

あきたのとちがいりょう

土地改良



イメージキャラクター
みどりちゃん

VOL. 524

2023
3.27 [Mon]



「春色」

撮影者/寺澤 藍

表紙の写真は秋田市内で撮影した梅の花です。寒い冬が明け、ようやく春の足音が聞こえて来ました。梅の花の種類はおよそ300種類以上あるそうです。年度末で何かとお忙しい毎日を過ごされている方が多いと思いますが、体調管理に気をつけ、これから訪れる春に期待を寄せながら過ごしていただきたいです。

水土里ネット秋田では、来年度も写真コンクールを開催いたします。皆さまからの沢山のご応募をお待ちしております。併せて、今年度の受賞作品は本会ホームページにてご確認いただけますので是非ともご覧ください。

本会第65回通常総会

農業・農村の持続的発展に向けて



▲高貝会長挨拶

3月17日(金)、本会第65回通常総会が県社会福祉会館(秋田市)で開催され、会員95名(内、委任状50名)が出席した。

開会にあたり高貝会長が、「農業農村整備事業等の受託事業について、今後とも現場の意見や要望に適切に応え、事業主体や地元の皆様に満足していただける事業実施を心がけていくとともに、計画的・安定的に事業が実施できる予算の確保のために、積極的に要請活動を展開してまいりたい。また、現在国では、食料安全保障の強化や農業の持続的な成長に向けて、食料・農業・農村基本法について、本年6月までに改正案の大枠をまとめるとしていることから、本会では、新たな農業政策等の情報収集に努め、情勢の変化に的確に対応しながら、本県農業・農村の持続的発展のために、役職員一同、全力を尽くしてまいりたい」と挨拶を行った。

引き続き、土地改良功労者表彰が行われ、1団体と個人12名が栄えある表彰を受けた。その後、来賓の皆様を代表して猿田和三秋田県副知事、坂本修東北農政局長(代読：川村文洋東北農政局農村振興部長)、柴田正敏秋田県議会議長、金田勝年衆議院議員からご祝辞を頂戴し、進藤金日子参議院議員よりビデオメッセージを頂いた。

議事では、今野諭理事長(大潟土地改良区)を議長に選任し、令和3年度事業報告書・貸借対照表・一般会計収支決算書及び財産目録、令和4年度一般会計収支補正

予算(理事会専決処分)、令和5年度事業計画・一般会計収支予算等が審議され、これらの議案はすべて原案通り承認並びに議決された。令和5年度事業計画の重点項目として、(1)持続可能で効率的な生産体制の確立に向けた支援、(2)防災・減災、国土強靱化に向けた支援、(3)土地改良区体制強化に向けた支援、(4)豊かな農村環境づくりへの支援、(5)活力に満ちた地域活動への支援が位置づけられた。また、役員の補欠選任が



▲金田衆議院議員祝辞

なされ、欠員となっていた秋田支部の理事に男鹿市土地改良区の中田謙三理事長が、仙北・平鹿・雄勝区域の監事に秋田県雄物川筋土地改良区の柿崎幹夫理事長が新たに選任された。最後に佐藤専務理事による「決議文」が朗読され、満場一致で採択された。なお、土地改良功労者表彰者は次の通り。



▲猿田秋田県副知事祝辞



▲受賞者

令和4年度秋田県土地改良功労者表彰

■ 団体表彰

【金章】 飯田川土地改良区

■ 個人表彰

九島貴子(小坂町土地改良区職員)、田山弘一(大館市土地改良区理事)、長崎克彦(北秋田市土地改良区理事)、戸松勇孝(能代市東土地改良区副理事長)、鎌田悦雄(秋田市上北手猿田土地改良区理事長)、相田勝弘(由利本荘市土地改良区理事)、加川一男(由利本荘市土地改良区理事)、星山正美(秋田県田沢疏水土地改良区理事)、千葉健(秋田県田沢疏水土地改良区理事)、大槻四郎(山城水系土地改良区副理事長)、高橋信治(湯沢雄勝土地改良区副理事長)、篠木清作(湯沢雄勝土地改良区理事)

(敬称略)



▲表彰の様子



▲全体の様子



▲総会(議事)



▲新役員の選任

決 議

記

- 一 地域の要望に応え、農業農村整備事業を計画的かつ円滑に実施するために必要な予算を安定的に確保すること
- 一 持続可能で効率的な生産体制を確立するため、農地の大区画化や水田の汎用・畑地化、スマート農業に対応した基盤整備及び農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化を引き続き推進すること
- 一 農村地域の防災・減災力の強化を図るため、防災重点農業用ため池等の農業水利施設の長寿命化及び豪雨・耐震化など、機能強化のための支援を一層充実すること
併せて、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」について、引き続き十分な予算を確保すること
- 一 土地改良区が農業農村整備事業の推進組織としての役割を的確に果たしていくために、統合整備や男女共同参画の積極的な推進など、組織運営体制の強化に向けた支援を一層充実すること

令和5年3月17日

秋田県土地改良事業団体連合会 第65回通常総会
(水土里ネット秋田)

目次

CONTENTS

第65回通常総会	2	「災害応急用ポンプ」(水中ポンプ)による揚水デモンストレーションが開催されました	10
第64回全国土地改良功労者等表彰		水土里ネット秋田 退職される方からひと言	11
令和4年度農業農村整備優良地区コンクール表彰県内受賞者について	4	会報誌523号のお詫びと訂正	11
水土里ネット秋田が「令和4年度東北農政局所管農業農村整備事業等受注者等の表彰・優良業務の部」受賞	5	連合会日誌	11
秋田県における農業農村整備関係予算確保への要請活動	5	水土里レポーターによる写真投稿	
第23回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール	7	(秋田県仙北平野土地改良区 総務課 主事 畠山 慎吾)	12
令和4年度女性セミナーを開催	8	会員だより	12
女性事務局長に聞く! 土地改良区リレーインタビュー	8	リレー感想文	12
(能代市東土地改良区 事務局長 幸坂いづみ)	9	編集後記	12

第64回全国土地改良功労者等表彰 令和4年度農業農村整備優良地区コンクール表彰 ＝ 県内受賞者について ＝

3月23日、東京都シェーンバツハ・サポーにおいて、第64回全国土地改良功労者等表彰及び令和4年度農業農村整備優良地区コンクール表彰が行われ、秋田県内から次の皆様が受賞されました。受賞を心からお慶び申し上げますとともに、今後、益々の御活躍を御祈念申し上げます。

第64回全国土地改良功労者等表彰

○全土連会長表彰

〈団体表彰〉

大瀧土地改良区

〈個人表彰〉

役員 柴田 均

湯沢雄勝土地改良区 羽後地区担当理事

職員 大塚 金弘

能代南土地改良区 事務局長

職員 竹内 幸男

にかほ市土地改良区 事務局長

(敬称略)

令和4年度農業農村整備優良地区コンクール表彰

〈農業振興部門〉

農林水産大臣賞

上川沿地区

大館市土地改良区



上川沿地区全景（枝豆の収穫）



枝豆の選果作業

水土里ネット秋田が

「令和4年度東北農政局所管農業農村整備事業等 優良工事等の受注者等の表彰・優良業務の部」受賞

2月7日、仙台合同庁舎A棟8階講堂において「令和4年度東北農政局所管農業農村整備事業等優良工事等の受注者等の表彰」が行われ、本会が「優良業務の部」において東北農政局長表彰を受賞しました。

この表彰制度は、令和3年度東北農政局所管の農業農村整備事業等のうち、その成果が優秀であり他の模範となる工事（優良工事の部）、測量・調査・設計業務（優良業務の部）及び工事等を実施した受益地域内で行われた優れた地域貢献活動（優れた地域貢献活動の部）を表彰するものであり、土地改良工事等への理解を深め、受注業者等の意欲の高揚、設計・施工技術のレベルアップ、地域貢献活動への積極的な取組等を図り、事業の円滑な施行に資することを目的として行われています。

本会では、国営田沢二期地区現場技術推進調査業務へ3名の現場技術員を派遣しており、設計見直しに伴う構造計算等の高度な作業や、急を要する補完工事等に必要な作業の速やかな実施等、円滑な工事実施への貢献が高く評価され、受賞の運びとなりました。



本会技術員による現場出来高確認
(第二田沢幹線水路北沢サイホン建設工事法面保護工)



表彰式の様子

秋田県における農業農村整備関係予算確保への要請活動

12月22日(木)高貝会長は農林水産省に対し、令和5年度当初予算における十分な農業農村整備予算の確保に向けた要請を行いました。



農林水産省農村振興局
青山局長への要請



農林水産省農村振興局
安倍次長への要請



農林水産省農村振興局
青山整備部長への要請

要 請 事 項

1. 令和5年度当初予算において、地域の強い要望に十分応えられる規模の農業農村整備予算を確保すること。
2. 高収益作物の営農定着と効率的な生産体制を確立するため、水田の大区画化や畑地化・汎用化及び農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化を一層促進すること。
併せて、スマート農業に対応した基盤整備事業への支援を充実すること
3. 農村地域の防災・減災力の強化を図るため、防災重点農業用ため池等の農業水利施設の適切な保全管理と、豪雨・耐震化対策などの機能強化を計画的に実施するための支援を一層充実すること
併せて、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」については、引き続き十分な予算を確保すること
4. 土地改良区の適正な運営と円滑な土地改良事業の推進のため、新たな財務会計制度の定着とその活用、統合整備や男女共同参画の促進など、組織運営体制の強化に向けた支援を一層充実するとともに、電気料金や生産資材価格等の高騰に対応するための支援を講ずること

第23回

「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール

【作品介绍】

2月27日(月)本会第1会議室にて第23回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクールの審査委員会が行われ、今年度応募いただいた171点の中から入賞作品20点が選ばれました。入賞作品については、本会ホームページ「写真コンクール」のサイトでもご紹介しております。

また、右記QRコードからもアクセスできますのでご覧ください。



審査委員

審査委員長	中村 章 氏	(全日本写真連盟秋田県本部委員長)
審査委員	高貝 久遠 氏	(秋田県土地改良事業団体連合会長)
審査委員	佐藤 暢芳 氏	(秋田県土地改良事業団体連合会専務理事)
審査委員	佐藤 大祐 氏	(秋田県農林水産部農山村振興課長)
審査委員	門脇富士美 氏	(秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会代表)
審査委員	相場 詩織 氏	(フリーアナウンサー)
審査委員	和田 弘子 氏	(男鹿市土地改良区事務局長)

講評・感想

●中村委員長

「今回初めて春の章、秋の章と部門を分け、私の予想では、ダントツで秋の章が多い予想でしたが、春の章もバラエティにとんだ写真が多かったように思います。来年は、今まで見たことがない、新しい視点で撮影された写真に期待します」

●高貝委員

「撮影された方は、どのような気持ちで何を伝えたかったのか、見る側になった時にどのような形で受け止めるのか、最後はこの写真を何かの表紙にした場合、どう活かされるのか、この3点を中心に審査させていただきました。回数を重ねる度に写真も審査委員の皆さんの目も専門的になってきているのではないかと思います」

●相場委員

「この審査委員会を通して、秋田に移住された方が「秋田には非日常の風景がある」と言っていたことを思い出しました。私の仕事は言葉で秋田の素晴らしさや、魅力を伝えることですが、自然というのは言語化できない部分もあると思うので、今回選ばれた写真とともに言葉を通じてもっと秋田を盛り上げたいと思います」

●和田委員

「本当に貴重な体験でした。私は男鹿出身なので、是非次は地元の素晴らしい原風景を撮影して自分でも応募してみたいと思います」



最優秀賞

秋田の農業&農村部門
(春の章)



真人のさくら

高橋 洋志 [撮影場所] 横手市増田町

【撮影者コメント】

春はさくら祭り、秋はりんご祭りと地域住民の憩いの場「真人公園」。日本さくらの名所100選にも選ばれている。

最優秀賞

秋田の農業&農村部門
(秋の章)



月虹の夜

安保 邦夫 [撮影場所] 北秋田市川井

【撮影者コメント】

偶然出会った月光に照らされた虹に感謝し撮影した。

最優秀賞

守りたい秋田の里地里山
50部門



星屑とホタルの里

佐藤 成公 [撮影場所] 秋田市雄和

【撮影者コメント】

許可を得た場所で北極星の観察ができる所からホタルと星を撮影。このように幻想的な農村を後世にまで残さなければいけないと思い撮影した。

最優秀賞

SNS
農業&農村部門



原風景を彩る

@ito_masa_insta [撮影場所] 大仙市協和

【撮影者コメント】

この季節は、19時半でも明るく、原風景と夕空に花火が溶け込むかのように思わず撮影した。

優秀賞

秋田の農業&農村部門



もぐもぐタイム

鈴木 生喜
[撮影場所] にかほ市冬師



「ふるさと」

加藤 悦子
[撮影場所] 五城目町

優秀賞

「守りたい秋田の里地里山50」
部門



のこったあ、のこったあ!!

藤原 なおと
[撮影場所] 潟上市昭和



早苗の頃 ~黒土稲荷神社~

吉田 慶嗣
[撮影場所] 五城目町黒土

その他12点は、本会ホームページに掲載しており、6ページに記載してあるQRコードからご確認いただけます。

令和4年度女性セミナーを開催

～あきた水土里ネット女性の会～

2月2日(木)秋田市(イヤタカ)において、あきた水土里ネット女性の会が主催する「令和4年度女性セミナー」が開催された。当日は女性の会の会員ほか、関係者を含め約50名の参加があった。開会にあたり根本由紀子会長(かつの土地改良区事務局長)は(代読:坂本由美子副会長(秋田県仙北平野土地改良区事務局長))「令和元年12月に設立され、コロナ禍で活動が制限されてきたなか、本日、開催の日を迎えることができたことを大変喜ばしく感じている。本日は、農業農村を取り巻く環境が日々変化するなかで、同じ土地改良区の業務を遂行している女性の会会員が一堂に集まり、日頃の考えや思いを共有し、意識の高揚と女性活躍の推進に寄与するためのセミナーとなっている。時代の変化をチャンスに変えるべく、新時代にふさわしい土地改良区の創造を目指し、『この会に参加して良かった、また参加したい』と思ってもらえるよう、リラックスできる会としたい」と挨拶を述べた。

セミナーでは、「今なぜ女性活躍の推進が必要なのか」と題し、秋田県次世代・女性活躍支援課 六澤恵理子課長のご講演後、「土地改良団体における男女共同参画～土地改良の未来に向けて～」と題し、全国水土里ネット土地改良広報センター 野口直子主査にご講演していただいた。また、全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子先生からは、「農業農村整備における女性活躍について」と題して、リモートでお話ししていただいた。最後に水土里ネット秋田 高橋技監の挨拶後、閉会となった。

今回は、女性の会設立後、初めて行ったセミナーだったが、土地改良の分野だけではなく、県内の女性参画についての動きや全国の状況など具体的に知ることが出来た。これからも「あきた水土里ネット女性の会」らしく会員の皆さんに喜んでもらえるような企画を考え実行していきたい。



挨拶をする坂本副会長



秋田県六澤課長



全土連野口主査



進藤金日子参議院議員



熱心に質問をする様子



会場の様子

土地改良区リレーインタビュー

能代市東土地改良区 事務局長 幸坂 いづみさん

土地改良区リレーインタビューの第4回目として能代市東土地改良区 事務局長 幸坂 いづみさんから様々なお話を伺いました!

インタビュー



幸坂事務局長

Q.1

事務局長に就任された時のお気持ちを教えてください。

初めて声が掛かった時は、正直なところ不安が大きく実は1度お断りさせていただきました。私たちの事務所は他の改良区と違い、女性だけで業務を行ってききましたが、今年度男性2名が加わり6人体制となったばかりです。男性職員がいるということは、他の改良区では普通のことであっても、本改良区にとっては大きな変化と言えました。このような事もあり、当時はとても不安が大きかったことを覚えています。しかし、幸い事務所には理事長をはじめ、頼りになる先輩方がいます。前事務局長からもアドバイス等をもらい、初代理事長が言っていた「全ては組合員のために!」をモットーに日々みんなで笑顔を絶やさず話し合いながら頑張っています。

Q.2

今まで行った業務の中で印象に残っているものはありますか。

様々ありますが、暗渠排水事業はとても印象的でした。一年間かけて全ての地区の業務を行いました。また、合併前は、職員は1人だけでしたし、前任からの引継の時間も短く、改良区での仕事内容も分からないまま業務をこなさなければなりません。現場に行き、夜は換地委員会というハードスケジュールでしたが、当時の理事長、役員の方々に教えていただきなんとか完成に至りました。



渡邊理事長と改良区の皆さん

Q.3

令和元年に「あきた水土里ネット女性の会」が設立されましたが、今後どのような活動に参加したいと思いますか。

コロナも段々と落ち着き、活動もこれからというところですので、他改良区の「施設巡り」を企画していただきたいです。事務所の中で仕事をしている女性も多いと思うので、現場に出て実際に施設を見る機会が大切だと思います。また、当改良区では、男女共同参画について理事会だけではなく各維持管理委員会でお話しさせていただいた地区があります。総代会時にはパンフレットも配布しました。すぐに女性理事の選出は難しいですが、少しずつでも様々な方に「女性の会」の活動を知っていただき、それが間接的にでも女性参画推進に繋がれば良いと思います。

Q.4

これからNN業界を目指す女性にアドバイスなどあればお願いします。

改良区とは、一体何をしているところなのか、ましてや名前すら聞いた事がない方もおり、農業離れ、改良区離れも心配なところですが、しかし、そんな時代だからこそ「女性」が活躍できる場所だと思っています。今まさに、女性参画推進も積極的に進められ、性別は関係なくどんなことにもでも挑戦できる時代です。農業分野で働く女性就業者についてはマスメディアでも多く特集されておりますが、どの女性も明るく元気に仕事をされている方が多く、活気に満ちあふれているこの業界に1人でも多くの女性が興味を持って挑戦していただきたいです。



改良区の風景

男女共同参画
に関する

ひとロメモ

令和4年12月22日 第2回有識者委員会を開催 テーマ/男女共同参画を加速・推進するための方策案

●令和4年度有識者委員会委員(敬称略、五十音順)

委員長 太田 信介 (元農林水産省農村振興局長、前(一社)地域環境資源センター相談役)
委員 鈴木 紀之 葛西用水路土地改良区参事、葛西・羽生領島中領土地改良区連合所長
委員 富山 英幸 栃木県土地改良事業団体連合会事務局長
委員 西岡 真帆 清水建設株式会社人事部ダイバーシティ推進室長

◆委員長意見

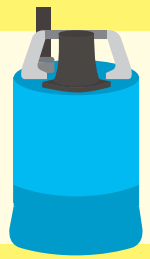
・理事や総代への継続的・定期的な啓発が必要。理事会・総代会で行政職員から呼びかけていただきたい

◆委員意見

・女性理事候補をあげるには女性の視点が必要。男性だけでは選べず、女性の会とも連携を
・「土地改良区の規模が小さいから登用できない」の声に応えるよう登用事例を示すと良い

(土地改良団体における男女共同参画推進ニュース2023.1第10号より抜粋)

「災害応急用ポンプ」(水中ポンプ)による揚水デモンストレーションが開催されました



3月10日(金)秋田市金足の小泉揚水機場において、災害応急用ポンプ(水中ポンプ)の実機を用いたデモンストレーションが行われました。

本会では、豪雨による自然災害や水不足へ迅速に対応するため、災害時等農業用排水機能確保支援事業を活用した「災害応急用ポンプ」(水中ポンプΦ200mm)を導入し、本部、南北事務所に各3台、合計9台を設置しました。令和5年4月より会員を対象に貸付を開始することとしております。今回のデモンストレーションは、事前に応急用ポンプの性能を十分に理解してもらい、効果的かつ安全に使用していただくために開催されたものです。

当日は「豪雨による冠水で揚水機場の機能がすべて停止した」という想定のもと、ポンプ据付から排水までの一連の作業が実演され、約30人の会員、県関係者が見学しました。

デモンストレーションの様子



秋田県土地改良事業団体連合会 管理情報部 加藤 俊逸 部長よりひとこと

大規模災害が発生した場合、どうしてもライフライン復旧の方が優先され、かんがい用水の確保が遅れる傾向にあります。土地連の災害応急用ポンプの活用により災害発生直後からすぐに対応可能となる事は、大きなメリットであると考えます。



お知らせ

令和5年4月から災害応急用ポンプの貸付を開始します

- 貸付対象は本会会員とし、貸付料金は無料です。
- ポンプの積込み、運搬、据付、撤去、発電機リース代、運転管理負担は自己負担となりますが、運搬及び据付・撤去に要した費用は上限30万円まで土地連で助成します。
- 貸付期間は原則3ヶ月ですが、申請により、再度3ヶ月を限度とした延長が可能となります。
- ポンプの亡失・損傷については、自己負担で補てん又は補修をしていただきます。
- 期限を越えての使用、目的外使用や転貸の場合は、当該ポンプを返納していただきます。
- 貸付を受け運転中は「運転記録」を記入し適切に管理していただきます。

申請書等の様式については本会ホームページに掲載しますので、各種様式を記載のうえ、ご提出をお願いいたします。詳細については土地連管理情報部長 (Tel:018-888-2727) までお問い合わせください。

今年度で退職される職員の方をご紹介します。

1. 所属・役職 2. 一言

加藤 俊逸



1. 管理情報部 部長
2. 38年間大変お世話になりました。皆様のおかげで無事定年を迎えられます。ありがとうございました。
時が変わろうとも「農業生産基盤の整備」なくして食料の安定供給などありえない、これまでも、これからも、自信と誇りを持って前に進もう。

柏谷 直人



1. 農地整備部 測量班長
2. 平成元年から臨時職員で採用になり34年間お世話になりました。測量関係が19年、設計関係が15年と1階と3階の往復をさせていただき、異動になるたびにリハビリが大変だった事を思い出します。退職後は農家として地域の担い手になれるよう、精進していきたいと思っています。今まで大変お世話になりありがとうございました。皆々様の益々のご活躍を祈っております。

秋田の土地改良523号についてお詫びと訂正

1月16日発行の秋田の土地改良523号について、掲載内容に誤りがありました。訂正箇所は下記のとおりです。

11ページ：会員だより「事務所移転のお知らせ」ページの内容について峰浜村大沢土地改良区のお名前に誤記がありました。

ここに訂正し、お詫び申し上げます。

誤：峰沢村大沢土地改良区

正：峰浜村大沢土地改良区

連 合 会 日 誌

2月21日	令和4年度東北・北海道土地連第4回事務責任者会議並びに農業農村整備推進意見交換会（～22日）	宮城県
2月27日	第23回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール審査委員会	本会第1会議室
3月3日	全土連理事会	東京都
3月17日	本会第65回通常総会	秋田市
3月23日	全土連第65回通常総会及び全国水土里ネット表彰式	東京都
..... 今後の行事予定		
3月31日	退職者の送別式	本会第1会議室
4月3日	人事異動通知書交付	本会会長室



広報用模型とインフラカード

水土里レポーター：秋田県仙北平野土地改良区
総務課 主事 島山 慎吾

秋田県立農業科学館(所在地：大仙市大曲内小友)には農業水利事業広報用模型が展示されております。啓発活動の一環として、田沢疏水・仙北平野両土地改良区で共同製作しました。頭首工から取水した農業用水が地域内に造成された施設を経由して田んぼに流れる様子を、模型内の施設を可動させて水を流し表現しています。また、仙北平野管内施設インフラカードも製作し無料配布しております。



会員だより

新支部長、副支部長就任のお知らせ

- 秋田支部
 - ・支部長
男鹿市土地改良区理事長 中田 謙三
 - ・副支部長
馬場目川水系土地改良区理事長 加藤 光儀
 - ・副支部長
河辺郡芝野堰土地改良区理事長 齊藤 善悦

vol.32 ワレエ 感想文



毎回、表紙の写真を楽しく拝読させていただいております。季節ごとに変わる写真を見てとても癒やされる思いです。

今年も長い冬が終わり花時の季節がきました。今年はコロナを気にせず花見を楽しみたいと思います。

総務企画部 上杉 和子

編集 後記

今年の冬は「10年に1度の大寒波」が日本列島を襲い、本当に春が来るのかと疑いたくなるような厳しい寒さでしたが、最近ではそれが嘘のように暖かくようやく春が来たなど実感させられます。桜の開花も例年より早い地域が多く、本県に関しても満開になるのは4月の前半頃だそうです。県内には桜の名所が沢山あり、是非とも県外の方にも秋田の素晴らしい桜を堪能していただきたいです。

私は、今年度もこの「広報」という仕事を通して沢山の経験をさせていただきました。取材等でご協力していただきました関係者の皆さま、本当にありがとうございました。来年度も皆さまからご愛読いただけるよう、より良い会報誌を目指していきます。水土里ネット秋田を今後ともよろしくお願いいたします。

(政策・広報班 寺澤)

